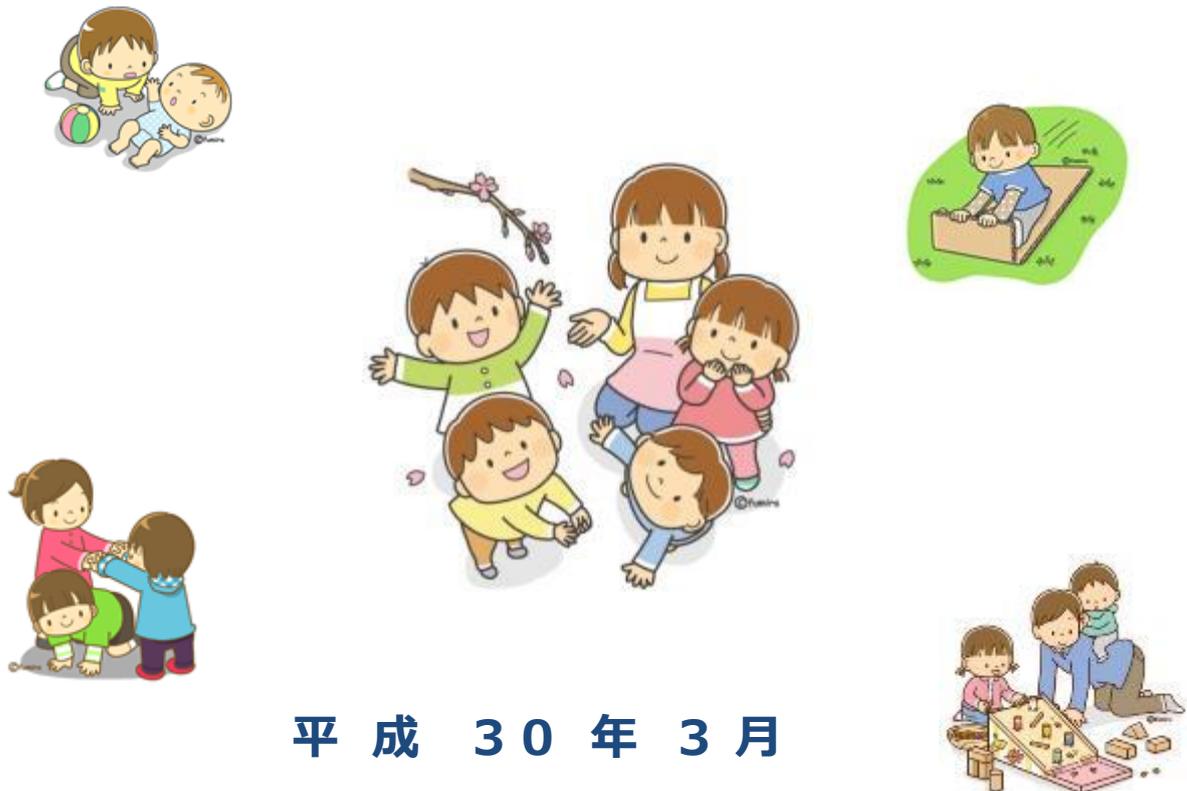




「遊び 学び 育つひろしまっ子！」

教育・保育
実践事例集

©fumira



平成 30 年 3 月
広島県教育委員会

◆はじめに

本県では平成 29 年 2 月、県内全ての乳幼児に乳幼児期に育みたい力の育成に向けた、家庭や幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業（以下、園・所という。）等における教育・保育が行われ、小学校以降の教育の基盤が培われるよう、本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方や県施策の取組内容をまとめた「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランを策定しました。

本プランでは、目指す乳幼児の姿を「遊び 学び 育つひろしまっ子！」とし、乳幼児期に育みたい力を、「感じる・気付く力」、「うごく力」、「考える力」、「やりぬく力」、「人とかかわる力」の 5 つに整理しています。

この目指す乳幼児の姿と乳幼児期に育みたい 5 つの力が乳幼児期の教育・保育に携わる全ての施設で共通認識され、同じ方向で取組を進められるようにと考え、この事例集を作成しました。園・所では、これまでも、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて、それぞれの特色を生かしながら創意工夫を重ね、日々の教育・保育に取り組まれているところです。その教育・保育内容について 5 つの力を視点に改めて見直したり、園・所内研修において、5 つの力を視点に子供の姿について協議したりすることで、次の実践につながる新たな糸口が見出され、このような取組を重ねることにより、教育・保育の質の向上が図られると考えています。

本事例集が活用されることにより、乳幼児期の教育・保育に携わる全ての施設の、教育・保育内容が充実し、目指す乳幼児の姿の実現につながっていくことを願っています。

「この事例集をもとに、あなたは、どのような実践をしますか？」



目次



◆はじめに

◆この事例集の使い方 1

第1章 本県の乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方

1 目指す乳幼児の姿 3

2 乳幼児期に育みたい5つの力 4

第2章 具体的な遊びの事例

◆ 事例一覧表 8

• 0歳クラスの事例 9

• 1歳クラスの事例 20

• 2歳クラスの事例 33

• 3歳クラスの事例 50

• 4歳クラスの事例 75

• 5歳クラスの事例 92

◆事例集の作成に御協力いただいた先生方

◆この事例集の使い方

第2章では、具体的な遊びの事例を、各年齢のクラスごとに紹介しています。
事例の様式は、次のような構成で作成しています。

担任されているクラスの事例を参考にできるように、各年齢のクラスごとに事例を示しています。

※園・所によって、クラス編成の仕方は様々であるため、乳児の事例については、事例を提供して下さった園・所のクラス編成に応じています。

この事例において、5つの力の中で、特に育まれていると見られる力について、大きい●で示しています。

0～2歳クラスの事例は月齢、3歳以上のクラスの事例は活動の時期(○月)を示しています。

事例のタイトルは、どのような活動が分かるように示しています。

事例 22

5歳クラス
(5月)

海賊ごっこ 船が動いた!

●

●

●

●

●

感じる・気付く

うごく力

考える力

やりぬく力

人とかかわる力

【活動の様子】

【遊びの中で育まれている力】

この事例の、具体的な場面の状況、子供の様子や表情、対話の内容を詳細に記述しています。

船作りを楽しんでいる。段々タフテープを付け、人をの船である。

で、船を動かすことを楽しめず、タフテープが切れてしまう。A児は、ビニールテープを持ってきて、「この線より後ろに乗って。その方が船を動かしやすいから」と、乗っている友だちに伝えている。



活動の様子と対応するように、育まれている力や吹き出しの内容を記述しています。

- ・自分たちが乗りたいとしたい
- ・遊びに必要な材料
- ・友だちのしてし出す。
- ・タフテープが切れてしまったが、自分たちなりに考えて遊びを継続する。

「5つの力の育ちにつながる経験」と「力の育ち」について記述しています。

- ・自分で船を動かしてみても気付いたことを、友だちに伝える。【人とかかわる力】

A児は、繰り返し遊ぶ中で、友だちが船の後ろの部分に乗った時の方が、船を動かしやすいと気づき、それを友だちに伝えている。

- ・やりたいことを実現させる行動する
- ・素材の特性に気づき

吹き出しの中には、保育者の見取りと、援助・環境構成などの意図を記述しています。

この遊びの中での学びを支えたもの

【自分たちなりに予想した考えたりできるような時間の確保】
子供たちがやりたできるように、用具や素材を一緒に準備したり、試行錯誤できる時間を十分に確保したことで、子供たちは、主体性を発揮しながら遊び込めた。

育ちにつながったと思われる要因(環境, 援助, 事象, 友だち, 状況, 家庭との連携など)を, 具体的に記述しています。
前ページに示す大きい●の部分だけでなく, 日常的な関わりや配慮も含めて, この遊びのプロセスを支えたことについて, 記述しています。

先生方へ...



遊んだ後の振り返りでは、楽しんで合って価値や目標を共有すること、それをまた遊びの中で生かすことで振り返りを重ね、自分たちで解決すると思われま。探求心を持って、新しい環境の中で、主体的に問題

幼児期は想像力が豊かで、何かになりきって遊ぶ「ごっこ遊び」が大好きです。シンデバッドの世界に入り込み海賊ごっこ遊びを楽しむ中で、「乗れる船を作りたい」といふ夫な船に

幼児教育アドバイザーや有識者より、この事例の意義、遊びの発展性、援助や環境構成、小学校以降の学びへのつながり等について、ポイントを絞ってコメントをいただいています。

わていく
意見を出
に気づき、
可能にす
で出会

ここで紹介している事例は、特定の園・所における、特定の子供の遊びや生活で見られた5つの力と、その際の環境構成、保育者の関わりなどを記述したものです。そのため、

「この力を付けるために、この活動をすればよい」

「そのまま実践すればよい」

というものではありません。

言うまでもなく、乳幼児期の教育・保育は、「環境を通して行うこと」を基本としています。

ここには様々な園・所の事例を掲載していますが、その遊び・生活の中で現れる子供の姿は、その子供の発達の状況や、園・所の環境構成、保育者の関わり、地域の環境・子供・保護者の実態によって様々です。ですから、保育者は、その年齢や時期にふさわしい遊びや生活が展開されるよう

- ・常に日々の乳幼児の遊びや生活の姿をとらえること
- ・この時期にどのような経験を積み重ねることが必要かを明確にすること
- ・これまでの遊びや生活の展開、子供の意識の流れを大切にすること
- ・目の前の子供たちが自ら興味・関心を持って周囲の環境に働きかけ、主体性を発揮できるようにすること

を考慮し、意図を持って環境を構成することが重要です。それは、決して、用具や素材だけを配置して、後は子供の動くままに任せることや、環境に含まれている教育的価値を保育者が取り出し、子供に押し付けたり詰め込んだりすることではないのです。

ここで紹介している事例の「活動の様子」をご覧くださいながら、

- ・園・所で見られる何気ない遊び・生活の中で育まれている5つの力の現れ
- ・5つの力の育成につながるような環境の構成や保育者の関わり

について、まず考えてみてください。そして、園・所の教育・保育内容を5つの力の視点で見直し、日頃の保育の中に「5つの力の育成」の視点を入れるなどして、先生方の保育実践に生かしていただけたらと思います。